



2015年

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

火山デスクトップカレンダー (By 堀内光栄)

行ってきました

関東ふれあいの道・GPS山行 第2回 東京都5

鍾乳洞と滝のみち

今井 秀正

2014年9月6日(土曜日)曇り
 前回5月の“東京都1 湖のみち”に続いて“東京都5 鍾乳洞と滝のみち”を歩きました。コースは帰りの交通手段の都合から武蔵五日市駅から上養沢行のバスで大岳鍾乳洞入口下車、林道から大滝を経て馬頭刈尾根、富士見台、つづら岩、綾滝、天狗の滝を経て千足バス停、武蔵五日市駅という、通常とは逆(と思われる)を選びました。
 なお、当会の本来の目的でもある GPS 使用は、地形、植生の関係で衛星がとらえにくく、記録を残すことができませんでした。
 9時35分五日市駅前発のバスに40分ほど乗車、ここから西へ向かうゆるい登りの林道はいつものことながら少々退屈ですが、両脇の草むらなどを眺めながら歩くのも、また別の楽しみでもあります。暑かった夏が終わる今は、ミズヒキやキンミズヒキ、ツリフネソウ、ハギ、石垣にはイワタバコなど、秋の入り口の花が見られました。
 林道終点から沢を渡り返しながら一時間ほどで大滝へ到着。滝上の広場で早めの昼食とともに大休止としました。

食事後、滝口を見ようとして少し下ってみると、水流で長年なめられたと思われる幅50cmほどの岩溝から水が落ちていることがわかり、沢登りをするわけでもない者にとってはあまり見る機会がなかった滝口を観察することができました。



昼食後は急登を経て馬頭刈尾根に至り、稜線を左(南東方向)に進むと、今日のコースでは唯一の山頂のような富士

見台(1054m)に着きました。晴れていれば“富士見”なのでしょうが今日は曇天、大岳山がドンと見えるだけで、大した展望はありませんでした。立派な東屋で中休止。冷たく大きなブドウをごちそうになり、記念写真ということになりました。足元にはあまり見たことがない紅色が濃いホトギスが数輪見られました。

コースはほぼ下りになり、30分ほどでつづら岩下へ。ここから左へ綾滝の標識に従って急な下りに転じ、綾滝で小休止。綾滝に引き続いて天狗の滝を経由する予定でしたが、コースが比較的滑りやすいことと、滝付近の状況から、今回は割愛することにし、滝下の林道へ出て千足バス停に至りました。

あいにく、次のバスには1時間ほどの待ち時間があることから、タクシーを利用して武蔵五日市駅18時13分の電車で帰途につきました。

本来の計画では、前週の8月30日予定を天候の関係で一週間延期しましたが、一週間前では沢の水量の関係でやや無理があったかもしれません。今回は久しぶりに多くの会員の参加をいただき、また、無事に終了できたことが何よりでした。

行ってきました

塩野原基線（山形県）踏査山行報告

～二つの反省点を残したが、大変楽しい山行だった～

鶴田 泰子

2014年11月16日～17日、メンバー6名（北野、今井、近藤、高橋、鶴田寛、鶴田泰）は山形新幹線新庄駅に11時に集合して、駅前からレンタカーで踏査を開始した。塩野原基線の①南側一次増大点（金澤山）～②基線（西端点）～③基線（東端点）～④北側一次増大点（薬師山）～⑤宿（羽沢温泉）～⑥西側二次増大点（奥蔵峠 702.6m）の順に進めた。

①南側一次増大点（金澤山）の三角点は新庄駅から1キロ行った東山総合運動公園の近くで、頭の丸い電子基準点の塔が聳えていたので、三角点もその近くにあると思ったら、なんと遊歩道を高さ50メートルほど登った辺りから藪の中の踏み跡を頼りに200メートル位北へ進み、GPSで位置確認したり、手分けして歩きまわりやっと草に埋もれた三角点を見つけた。初っ端から苦労して探し当てた喜びは大きかった。



一等三角点・金澤山

参加者：北野、鶴田(泰)、高田、高橋、井上、川口、関(美)、今井(8名敬称略)



追記：当日観察された花の中にツル性のあまり見かけないものがありました。花径は1cmほどの筒状の合弁花で、赤紫の縁があります。北野代表から“バアソブ”という名と聞き、調べてみたところ、キキョウ科ツルニンジン属で絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）の植物で、ツルニンジンとよく似ています。漢字では“婆雀斑”と表されるようです。ちなみにツルニジンはじいじイソブ（爺ソブ）といわれるそうで、植物の名づけには面白いものがあります。現地ではわからなくても、デジカメという便利な道具がありますから、持ち帰って調べるなり、機会があれば話題にすることも楽しいことではないでしょうか。今回は勉強になりました。

②基線西端点と③基線東端点は日本列島の14の基線中、唯一の両端が現在まっすぐに見渡せる基線で、半分舗装、半分砂利道の立派な農道だった。5129メートルの道のりを辿り、測量遺産とされ、日本唯一の直接距離測定が今でも可能な基線であると説明が書かれた標示板を写真に収める。



塩野原基線の説明板

④北側一次増大点（薬師山）は国道沿いに登り口があり、白山神社と書かれた鳥居をくぐり、いきなり急な山道の登りとなる。悪路をロープを頼りに40分ほど登ったところに社があり、その裏にある一等三角点を確認。15時45分に、暗くなつては大変と、大急ぎで慎重に下る。



薬師山山頂の祠

⑤宿（羽沢温泉）には明るいうちに到着出来た。温泉はぬるぬるで、胃腸に良い効能があるそうだ。鄙びた感じの良い松葉荘旅館で、料理とお酒が美味で大満足！



羽沢温泉・松葉荘にて

⑥西側二次増大点（奥蔵峠）への道の様子を宿の主人に説明を受け、17日8時に出発。地図を頼りにあちこち路を探しながら、林道を車で慎重に走る。不安のうちに雪景色になった辺りで奥蔵峠登山口に9時に着いた。雨具とアイゼンを付けてストックを頼りに、今回の踏査山行最後の奥蔵峠702.6メートルの三角点を目指して登山開始。

行ってきました

関東ふれあいの道・GPS山行第5回 東京都7

山草の道

北野忠彦

2015年4月11日(土)曇時々薄日
青梅線川 駅8:48着。バス停は青梅街道沿いに50mほど上流方向に移っていた。9:27分発のバスで清東橋まで。ここで身支度をして登山届をバスの運転手に託して9:50出発。棒ノ折山登山口10:00。ワサビ田沿いにしばらく登り左折してヒノキ林の急登にかかる。何度歩いても急な嫌な道だ。道がやや緩くなったあたりで同じバスに乗っていた、先行した2パーティを追い越し、小休止の後、最後の登りをひと頑張りして11:35棒ノ折山に着いた。広い山頂に30人近くいたのだろうか、食事の後ここが撮影ポイントになっているので全員で集合写真。(右)

最初は沢沿いで緊張の登り下りだったが、少し行くと、ブナ林となり、積雪15センチほどの素晴らしい雰囲気的林間歩きを楽しめた。動物の足跡（小熊らしき足跡も）を発見しながら行くと一等三角点への道標があり、そのあたりより小高い山を藪の中へ150メートルほど登り、切り開いた場所の一等三角点を発見した。塩野原基線踏査山行で予定していた5つめの一等三角点を確認して無事新庄駅に14時前に着くことが出来た。変化に富んだ楽しい2日間だった。



奥蔵峠・三角点

地元の産物と銘酒を求めて15時17分の新幹線と夜行バスに分乗して帰路に就いた。これで日本列島の地図を作るための測量の基準となった14の基線のうちの4つ〔相模野基線（神奈川県）、須坂基線（長野）、三方原基線（静岡県）、塩野原基線（山形）〕をAGCとして実地に踏査したことになる。

- 反省点1 あらかじめ、山行計画書（届）を留守本部、駅、旅館等のどこかに残していくべきだった。AGCとして山行計画書のフォームを作っておくことも検討した。
- 反省点2 行程1日目の④増大点（薬師山）への登山開始時間が15時を過ぎていたのに、メンバーの4人が三角点を求めて16時には引き返す条件で登山を強行した。予定よりも早く、明るいうちに降りてきたものの、急登の上、悪路だったので懐中電灯を使用して降りることになっていたら下山は危険であった。ここは強行すべきではなかったと大いに反省した。



ここから岩茸石山までの間はスミレが豊富と案内板にあったので大いに期待が持てた。12:20 黒山に向けて出発。以前からあった登山道は植生回復のため閉鎖されており、右手を下る。三等三角点の黒山12:55 着。ここからは小さな上り下りが続き、途中の休憩を挟み14:30 名坂峠を通過。数年前の分水界山行のとき激しい雷雨に会い動きが取れずに時間を食って大丹波へエスケープしたことを思い出した。このあと一登りで15:55 岩茸石山に着いたが、期待したスミレは全く見られなかった。ここか

ら高水三山の縦走路の一角を進み15:50 惣岳山へ。杉木立のなかの青謂神社も撮影ポイントとなっているのでここでも集合写真。あとはほぼ尾根通しを下り17:25 御岳駅に着いた。駅前の店でビールと餃子で軽く1杯の打ち上げ会を行った。

参加者: 今井、高橋、高田、鶴田、北野

(北野記)

行ってきました

関東ふれあいの道・GPS 山行第6回 東京都2

鳥のみち

今井 秀正

2015年4月23日(木曜日)晴れ
 関東ふれあいの道踏査シリーズは6回目を迎えました。
 今回の“東京2鳥の道”は3月7日に予定していましたが、天候不良のため延期することになり、平日に行うことになったものです。

コースは下山後のバスの事情を考慮して、通常とは逆のコースにしました。まず、高尾駅北口から陣馬高原下へバスを利用して陣馬山、明王峠、景信山、小仏峠を経て時間の都合から小仏バス停へ下山しました。

8時15分発のバスに乗車と案内をしたものの、時間になってもなぜバスが来ないのかと時刻表で確認したところ、34分発となっていたので、これはダイヤ改正かと思いましたが、そうではなく、延期前の土曜日の計画をそのまま木曜日の計画に転用した結果でした。とにかく予定を狂わせることなく済みましたが、皆さんに心配をかけてしまいました。

9時過ぎにバスを降り、同乗していた人々は三々五々出発してしまいましたが、地理クラブの面々だけが残り、地面に地図を広げてコンパスで今日の行程と方角を確認するという、忠実？な姿が見られました。(写真上)

登山開始は9時半すぎ。舗装道路を和田峠に向かうのが規定のコースですが、せつかくの若葉の淡い緑を通す陽光を楽しむため、途中から左側に分かれる新道に入ったところ、陣馬山巻き道直下にニリンソウの大群落を見ることができました(写真下)。

11時に陣馬山山頂に着き、360度の展望を楽しみながら早めの昼食にしました。

11時半過ぎに腰をあげ、楽な稜線をワンピッチの明王峠まで歩いて小休止。沿線の萌黄色の樹下にはミミガタテンナンショウがあちこちに咲き、さらに咲はじめのヒトリシズカの群落がそこ

こに見られました。ヒトリシズカは芽を出す時に蕾を小豆色の葉で両側からはさんで守りながら地中から顔を出すようで、私にとって新たな観察でした。
 今日のコース上はどこから風に運ばれてくる桜の花びらが均一に散りばめられていて、終日その絨毯の上を歩くことになりました

そろそろ疲れが出てきた14時、このコースの撮影ポイントとされている景信山に到着。ここで小休止。西武ドーム球場が、前回の棒の折れ山から見た時より少し大きく光って見えたが、午後のためか、スカイツリーが見えるほどのクリアさはなくなっていました。

景信山から小仏峠に向かう急な下りをおえたところは、嘗て茂っていた大きい樹木が伐採されたため、陽あたりと展望が良くなっていますが、ここには薄桃色の花色が濃い薄いに咲き分けたイカリソウの小群落があちこちに見られるようになっていきます。

そのほかにもヤマブキや散り残るサクラ、足元には数々のスミレ、その中でも桃色のエイザンスミレなどが見られ、とにかく今日は春の里山を堪能することができました。

小仏峠から関東ふれあいの道コースを外れて小仏

バス停には15時30分に到着。高尾駅から八王子下車で“反省”のち帰途につきました。

今回の参加者: 北野、片野、鶴田(泰)、高橋、今井(順不同)以上



発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ (代表・北野忠彦)
 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付
 TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
 編集担当: 近藤 E-mail: hikarikon@nifty.com